

取扱説明書

プラグインハイブリッド車・電気自動車用 充電スタンド

EVCS1

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
※この説明書は、必ず保管していただくようお願いします。



もくじ

安全上のご注意	2
危険・注意の警告ラベルの内容	5
各部の名称	6
付属品	6
事前準備	7
操作方法	8
開始手順	8
終了手順	9
メインスイッチ ON/OFF 方法	10
各種設定の変更	11
トラブルシューティング	12
クリーニングについて	13
日常点検（毎回）	13
コネクタロックの方法	14
仕様	15
お問い合わせ先	20

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「警告」「注意」として区分してあります。

	危険	回避しないと、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状況を示します。
	警告	回避しないと、死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
	注意	回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

- お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

 気をつけていただく内容です。

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

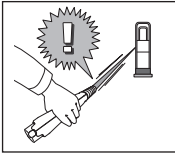
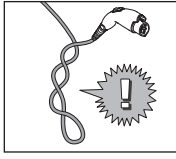
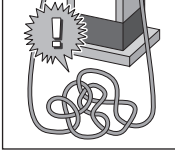
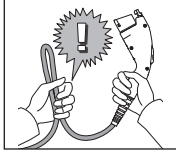
なお、 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■施工および保守・点検上のご注意

⚠危険			
⊘	有資格者（電気工事士※）以外の電気工事は法律で禁止されています。	⚠	保守・点検時はメインスイッチと給電元ブレーカを必ず OFF にしてください。感電および短絡による人身事故のおそれがあります。
	※工事内容や規模によってはこの限りではありません。		保守・点検時に取外した端子カバー、保護カバーなどは必ず元の位置に戻してください。感電や短絡による事故のおそれがあります。
⚠警告			
⊘	弱電回路は絶縁抵抗測定をしないでください。故障の原因になります。	⚠	ブレーカの保守・点検時にはテストボタンによる動作確認をしてください。
⚠	導通部の接続ねじは施工説明書の締付トルクの範囲内で定期的に増締めしてください。ねじがゆるんでいると発熱し、火災のおそれがあります。		線間での絶縁抵抗測定は漏電ブレーカ、単相3線式中性線欠相保護付ブレーカ、操作回路など、不具合の生じるおそれのある機器（回路）を外してから電線間で行ってください。
			対地間の電圧測定は、本製品内のアース線を外して行ってください。
⚠注意			
⊘	国外では使用しないでください。本製品は日本国内専用です。	⚠	使用を終了した製品は、万一の場合に備え、放置せずに撤去してください。
	本製品には植栽などの土がかからないようにしてください。		製品に傷やさびが発生した場合は、必ず防錆処理をしてください。腐食の原因となります。
			動物などの排泄物が付着した場合は、クリーニングしてください。
	階段、非常口などの付近で避難の支障となる場所に設置しないでください。		配線や安全状態を確認した上で、給電元ブレーカを ON にし、本製品のメインスイッチを ON にしてください。それでも動作が確認できない場合は、お問合わせ先までご連絡ください。
			メンテナンスドアを閉じた後は、いたずら防止および事故防止のため、必ず施錠してください。
			積雪時は必ず除雪してください。
		凍結している場合は、ぬるま湯（40℃程度）で解凍してから使用してください。熱湯は使用しないでください。本製品を破損するおそれがあります。	

■充電コネクタ・充電ケーブル取扱いのご注意

⚠ 危険			
 接触禁止	充電コネクタ端子部に触れないでください。感電のおそれがあります。		破損した充電コネクタ・充電ケーブルは使用しないでください。感電や火災のおそれがあります。破損した場合は直ちに弊社指定業者による修理・交換が必要です。お問合わせ先までご連絡ください。
	 水ぬれ禁止		
	充電コネクタ端子部を水などで濡らさないでください。また濡れたまま使用しないでください。感電のおそれがあります。		

⚠ 警告			
	充電コネクタや充電ケーブルを踏みつける、地面に落下させるなどして損傷を与えないでください。感電や火災のおそれがあります。		充電コネクタ端子部に異物やほこりが付着した場合は、エアスプレーなどで除去してください。異物やほこりが付着したまま使用すると、感電・火災・故障の原因となります。
	強く引張る、ねじるなど、充電ケーブルに無理な力を加えないでください。破損し、感電や火災のおそれがあります。    		

⚠ 注意			
	無理に充電コネクタを取出さないでください。充電コネクタおよび充電インレットが破損するおそれがあります。		本製品や車両から充電コネクタを抜く時は、充電ケーブルを引張らずに充電コネクタを持って行ってください。
	充電コネクタを使用しない場合は、充電スタンド本体のコネクタ収納部に収納してください。		充電コネクタは確実に奥まで差込んでください。差込みが不十分な場合、充電できない場合があります。

■使用上のご注意

⚠ 危険			
 接触禁止	通電中に端子に触れないでください。感電・誤動作の原因になります。		本製品を他の場所へ移動させる場合は、必ず有資格者（電気工事士*）が行ってください。故障・感電・けがの原因になります。 ※工事内容や規模によってはこの限りではありません。
	電源復帰時に本製品の安全性が確認できない場合は、本製品に触れないでください。感電のおそれがあります。		定格容量を守ってご使用ください。定格容量を超えての使用は感電・火災のおそれがあります。
 分解禁止	本製品を分解・改造・加工したり、本書に記載してある使い方と違った使い方をしないでください。故障・感電・火災・けがの原因になります。		充電は車両の電源が切れている状態で行ってください。故障・感電・けがの原因となります。
	メンテナンスドアを開けた状態では使用しないでください。故障・感電の原因になります。		本製品をクリーニングする場合や、部品を交換する場合は、必ずメインスイッチと給電元のブレーカを OFF にし、本製品への電源の供給を停止してから行ってください。感電のおそれがあります。メインスイッチ OFF については「メインスイッチ OFF 方法」(P.10)、クリーニングについては「クリーニングについて」(P.13)を参照してください。
	地震、台風、落雷、浸水など災害が発生した時には、安全が確認されるまで本製品を使用しないでください。故障・感電・けがの原因になります。		部品の交換は必ず有資格者が行ってください。
	充電コネクタを車両に接続したまま発車させないでください。故障・感電・けがの原因となります。		
	本製品に電源が入ったままで内部のケーブル、コネクタなどの抜差しを行わないでください。システムの破損・発煙・発火のおそれがあります。また内蔵プログラムを破損する場合があります。		

⚠ 警告			
⊘	クリーニング時はメンテナンスドアを開けないでください。また、絶対に本製品の中に水分が入らないようにしてください。	⚠	本製品の内部を濡らさないようにしてください。故障・感電のおそれがあります。
	高圧洗浄は絶対にしないでください。感電や故障の原因になります。		本製品の内部が濡れていないことを確認してからメインスイッチを ON にしてください。故障・感電のおそれがあります。
⚠	本製品を利用する際は、車両のパーキングブレーキなどを利用し確実に駐車してください。充電中に車両が動き出すと故障・感電・けがの原因になります。		ご使用中に、異臭、異音、発熱、変色、変形などの異常が現れた場合は、直ちに使用を中止しお問合わせ先までご連絡ください。

指に注意

<

■その他のご注意

- ・本製品の状態表示部に静電容量式タッチスイッチを使用しています。
- ・タッチスイッチに水や木の葉などが付着したまま操作すると誤動作します。水や木の葉などは除去してから操作してください。
- ・タッチスイッチは指で入力してください。爪先では反応しません。手袋などの使用は材質・厚みにより反応、操作感などが異なります。
- ・本製品は状態表示部に LED を使用しています。輝度、色合いは使用環境温度により変動することがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・充電コネクタは約 1 万回使用すると交換が必要です。ただし、使用条件・使用場所で異なります。異常や不具合がありましたら、お問合わせ先までご連絡ください。
- ・本製品が破損した場合は、直ちにお問合わせ先までご連絡ください。

■危険・注意の警告ラベルの内容

誤った使用や保守・点検作業は非常に危険です。人身事故や物損事故を起こすおそれがあります。
したがって本製品に貼付されている危険および注意の警告ラベルの内容を十分に理解してから、使用や保守・点検作業を行ってください。

コーションラベル

プラグインハイブリッド車・電気自動車用 充電スタンド		電気方式 1Φ2W 連続使用定格電流 16A 定格電圧 AC200V 定格周波数 50/60Hz 保護性能 1P55（コネクタ収納部は除く）	
 危険 火災・感電の恐れあり ・充電コネクタ及びケーブルを踏みつけたり、地面に落下させたり、無理に引っ張らない。 ・充電コネクタに水や異物等を入れない。 ・幼児には使用させない。 ・本製品を分解したり、改造したりしない。 ・故障の際は使用しない。			
 注意 けが・破損の恐れあり ・本製品の上に乗ったり、物を置いたりしない。 ・コネクタ収納部に指や異物を入れない。			
お願い 使用手順をご確認のうえ正しく使用してください。 ・エラーランプが点灯している場合は、管理者へご連絡ください。 ・充電終了後は必ず充電コネクタ、ケーブルを元の位置へ戻してください。（感電・故障の原因になります） ・充電ケーブルがねじれている場合は、ねじれを解消させてください。 ・修理、部品の交換は必ず有資格者が行ってください。 ・本製品は換気が必要とする車両には対応しておりません。			
管理者			
販売元		製造元	
 株式会社 豊田自動織機		 NITTO NITTO KOGYO	

お願い
「管理者」欄に、本製品管理者様の
連絡先を記入してください。

感電注意ラベル（大）

 危険 火災、感電の恐れあり。下記事項を厳守すること。 — 施工説明書、取扱説明書を必読 — ●電気工事は有資格者が行うこと。 ●導電接続部のネジは、必ず適正トルクで締め付けること。 工事終了時・点検時は、必ず増締めを行うこと。 ●正しい配線・結線作業を行うこと。	
 注意 火災、感電の恐れあり。下記事項を厳守すること。 — 施工説明書、取扱説明書を必読 — ●キャビネットの加工時、内器に切粉やゴミがかからぬよう養生等の処理をすること。 ●無断で改造をしないこと。 ●弱电回路の絶縁抵抗測定は禁止。 ●試験完了後は、必ず所定のモードに正しく設定すること。 ●扉は確実に閉めて、施錠管理をすること。	

ブレーカ操作ラベル

 危険 感電及び短絡による人身事故の恐れあり 工事・点検時は主幹ブレーカを必ず切れ	
	

保護板ラベル

 危険 感電の恐れあり 保護板を開くな	
	

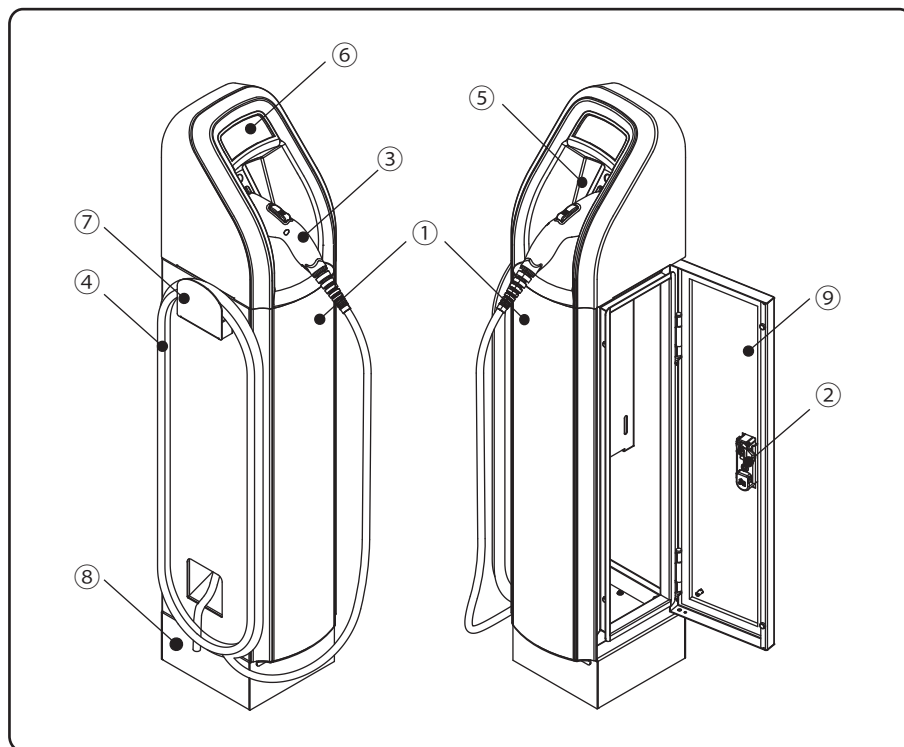
感電注意ラベル（小）

 危険 感電の恐れあり 充電部に触るな	
	

ペースメーカーラベル

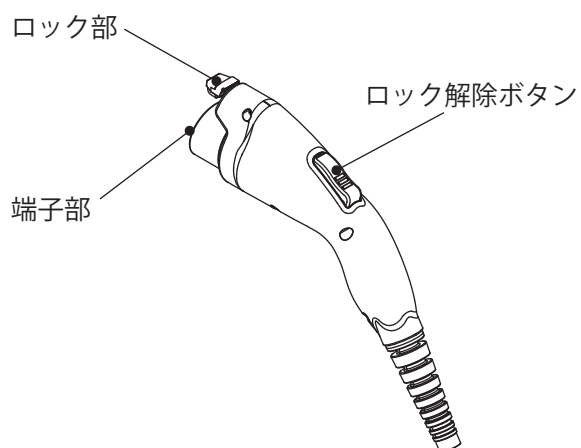
 ペースメーカー、ICDを お使いの方へ 充電中は密着しないで ください。	
--	--

■各部の名称

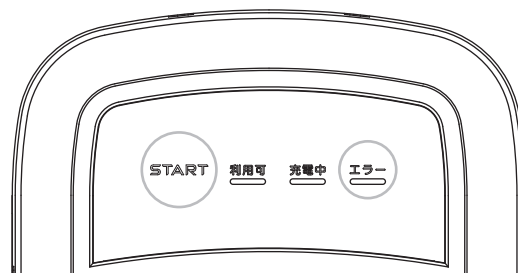


名 称	
①	本体
②	本体ハンドル
③	充電コネクタ
④	充電ケーブル
⑤	コネクタ収納部
⑥	状態表示部
⑦	ケーブルフック
⑧	基台
⑨	メンテナンスドア

充電コネクタ



状態表示部



	LED 色	タッチスイッチ機能
START	緑色	あり
利用可	緑色	なし
充電中	橙色	なし
エラー	赤色	あり

■付属品

名 称	数量
本体ハンドル用鍵	2
充電スタンド施工説明書	1
充電スタンド取扱説明書（本紙）	1
角座金	4

■事前準備

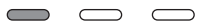
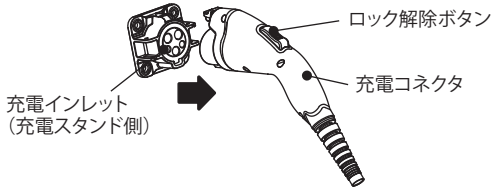
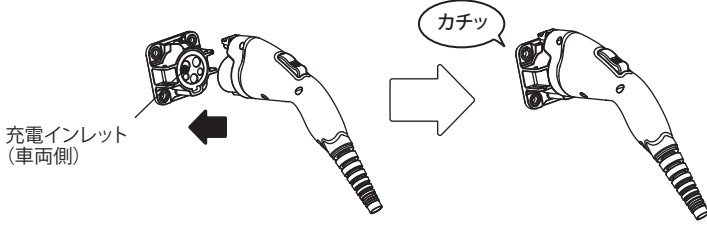
●ケーブルの収納

本製品の設置後、充電ケーブルをケーブルフックに掛けておいてください。
使用後もケーブル保護のため、ケーブルフックに掛けて保管してください。

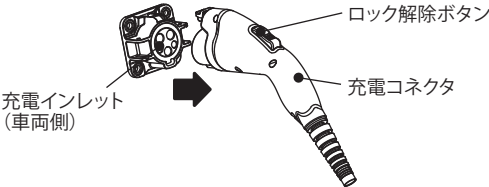
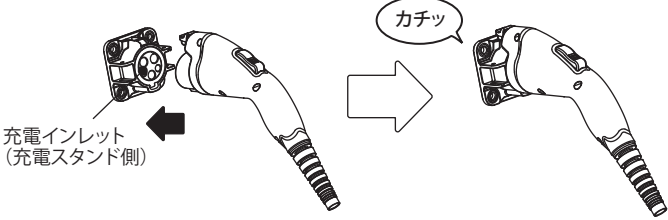
手順	作業	説明
1	ケーブルの収納	< 推奨方法 > ①充電ケーブルがねじれている場合は、「操作方法 開始手順 2」(P.8) を参照し、充電コネクタを取出し充電ケーブルのねじれを取ってください。 ②充電ケーブルをケーブルフックに掛けてください。 3 ～ 4 回ケーブルフックに掛けるとちょうど良い長さになります。 ③「操作方法 終了手順 3」(P.9) を参照し、充電コネクタをコネクタ収納部に戻してください。  警告  強く引張る、ねじるなど、充電ケーブルに無理な力を加えないでください。破損し、感電や火災のおそれがあります。 

■操作方法

●開始手順

手順	操作・状態表示部	
1	状態表示部の確認	状態表示部が利用可のみ点灯していることを確認してください。 利用可 充電中 エラー 
2	充電コネクタの取出し	充電コネクタのロック解除ボタンを押しながら、手前にまっすぐ取出してください。充電ケーブルを必要な長さだけケーブルフックから外してください。  ⚠ 警告 充電コネクタや充電ケーブルを踏みつける、地面に落下させるなどして損傷を与えないでください。感電や火災のおそれがあります。 ⚠ 注意 無理に充電コネクタを取出さないでください。充電コネクタおよび充電インレットが破損するおそれがあります。
3	車両への接続	車両の充電インレットに充電コネクタをロック解除ボタンを押さずに「カチッ」と音がするまで確実に差込んでください。  ⚠ 注意 充電コネクタは確実に奥まで差込んでください。差込みが不十分な場合、充電できない場合があります。
4	充電開始	親機(EVC2)と連携の場合 親機(EVC2)の取扱説明書の親子連携操作 開始手順を参照してください。 スタンドアローンの場合 充電コネクタを車両の充電インレットに差込むと自動で充電が開始します。 ※自動で充電が開始しない車両があります。その場合は状態表示部の START をタッチしてください。 ※車両に充電コネクタが確実に差込まれていない場合や、車両の状態によっては充電が開始されません。 ※充電が開始されると、状態表示部の充電中が点灯します。 利用可 充電中 エラー  ⚠ 警告 ご使用中に、異臭、発熱、変色、変形などの異常が現れた場合は、直ちに使用を中止しお問合わせ先までご連絡ください。

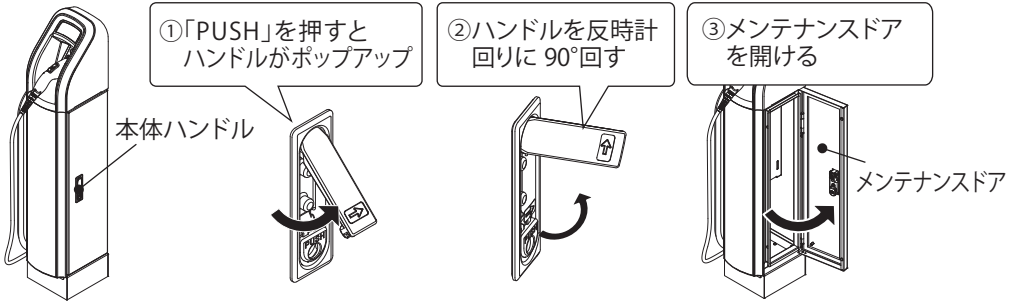
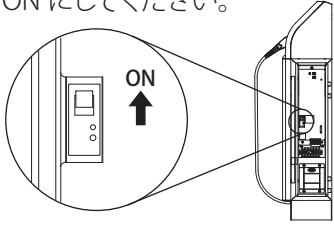
●終了手順

手順	操作・状態表示部
1	状態表示部の確認 状態表示部の充電中が点灯している場合 充電中の状態です。 手順 2 へ進んでください。 利用可 充電中 エラー  状態表示部の充電中が点滅している場合 充電していない状態です。 手順 2 へ進んでください。 利用可 充電中 エラー  状態表示部の充電中が消灯している場合 充電していない状態です。 手順 2 へ進んでください。 ※充電コネクタを車両から抜いた場合や、充電時間が最大充電時間を経過した場合にこの状態になります。 利用可 充電中 エラー 
2	利用終了 充電コネクタのロック解除ボタンを押しながら、車両から充電コネクタを抜いてください。  ⚠ 警告  充電コネクタや充電ケーブルを踏みつける、地面に落下させるなどして損傷を与えないでください。感電や火災のおそれがあります。 ⚠ 注意  無理に充電コネクタを取出さないでください。充電コネクタおよび充電インレットが破損するおそれがあります。
3	充電コネクタを収納する 本体の充電インレットに充電コネクタをロック解除ボタンを押さずに「カチッ」と音がするまで確実に差込んでください。 

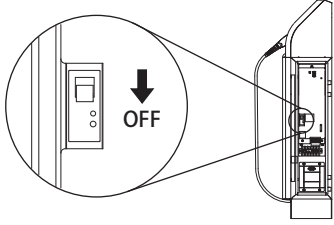
●メインスイッチ ON/OFF 方法

本製品を終了 / 再起動する場合は、下記手順にしたがってメインスイッチを ON/OFF にしてください。

メインスイッチ ON 方法

手順	操作・状態表示部	
1	メンテナンス ドアを開ける	本体の右側面にある本体ハンドルに付属の鍵を差し込み解錠します。「PUSH」部分を押し、ハンドルがポップアップします。ハンドルを反時計回りに 90°回し、ハンドルを持ってメンテナンスドアを開けてください。  ①「PUSH」を押すと ハンドルがポップアップ ②ハンドルを反時計 回りに 90°回す ③メンテナンスドア を開ける 本体ハンドル メンテナンスドア
2	メインスイッチ ON	本体内のメインスイッチを ON にしてください。 
3	状態表示部の確認	メインスイッチを ON にすると、約 5 秒（システムの状態によっては数分）で状態表示部が全点滅し、利用可が点灯します。 手順 1 の操作と逆の手順でメンテナンスドアを閉め、施錠してください。 ※メインスイッチ OFF から ON の操作をする場合は、10 秒以上間隔をあけてください。 利用可 充電中 エラー ● ○ ○ ⚠ 注意  指に注意 メンテナンスドアで指などを挟まないようにご注意ください。  メインスイッチを ON にした後、待機状態が確認できるまで、メインスイッチの操作は絶対にしないでください。故障の原因となります。

メインスイッチ OFF 方法

手順	操作・状態表示部	
1	状態表示部の確認	状態表示部が利用可のみ点灯であることを確認してください。 利用可 充電中 エラー ● ○ ○
2	メンテナンス ドアを開ける	「メインスイッチ ON 方法 手順 1」を参照し、メンテナンスドアを開けてください。
3	メインスイッチ OFF	本体内のメインスイッチを OFF にしてください。 

■各種設定の変更

●LED の輝度変更

対象:スタンドアローン

充電コネクタが充電スタンド側の充電インレットに収納されている場合のみ
状態表示部の輝度を変更できます。

※出荷時の輝度は「強」に設定されています。
※親機 (EVC2) と連携している場合は、親機 (EVC2) で輝度を変更できます。

手順	操作・状態表示部	
1	状態表示部の確認 利用可 充電中 エラー	充電コネクタが充電インレットに戻っていることを確認してください。 START ボタンを約 3 秒押してください。 START ボタン START 利用可 充電中 エラー
2	輝度設定	エラーボタンを押すごとに、輝度が強→中→弱→強・・・と切替わります。 希望の輝度に変更し、START ボタンを約 3 秒押してください。 START 利用可 充電中 エラー ①エラーボタンで切替え ②START ボタン 状態表示部が約 5 秒全点滅し、変更した輝度で利用可が点灯します。
	キャンセル	充電コネクタを抜き差しすると利用可のみ点灯状態に戻ります。 1 分間操作がない場合、タイムアウトし利用可のみ点灯状態に戻ります。

■トラブルシューティング

●充電中に停電が起きたとき

充電中に停電があった場合、停電の状況によって復電後充電が再開しない場合があります。

充電が再開しない場合は復電後、待機状態になります。

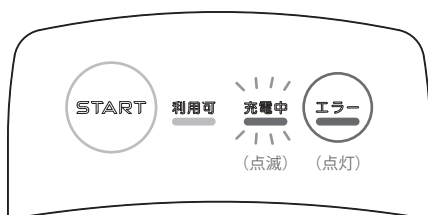
充電を再開する場合は、一度車両から充電コネクタを抜き、「操作方法 開始手順」(P.8)にしたがって最初からやり直してください。

⚠ 危険	
 接触禁止	電源復帰時に本製品の安全性が確認できない場合は、本製品に触れないでください。感電のおそれがあります。

●エラーが発生したとき

エラー表示一覧表にしたがって、ご対応ください。エラーが解消されない場合は、お問い合わせ先までご連絡ください。

充電中の点滅回数でエラー内容を表示します。エラーが複数あるときは10秒間隔で順番に表示します。



エラー表示一覧

充電中点滅回数	エラー内容	確認手順・原因
1 回	内部リレーエラー 1	お問い合わせ先までご連絡ください。
2 回	内部リレーエラー 2	①エラーボタンを押してください。 ②エラーが消えない場合はお問い合わせ先までご連絡ください。
3 回	制御信号エラー	①エラーボタンを押してください。 ②エラーが消えない場合は対象外車両（改造車・規格外車両）が接続されていないか確認し、されていない場合はお問い合わせ先までご連絡ください。
4 回		
5 回	アース異常	①エラーボタンを押してください。 ②エラーが消えない場合は接地不良の可能性があります。 施工業者にお問い合わせください。
6 回	内部回路エラー	お問い合わせ先までご連絡ください。

■クリーニングについて

クリーニングを行うときは、よく絞った柔らかい布で拭いてください。
また、下記の事項を必ず守ってください。

⚠ 危険	
!	本製品をクリーニングする際は、必ずメインスイッチと給電元のブレーカを OFF にし、本製品への電源の供給を停止してから行ってください。感電のおそれがあります。メインスイッチ OFF については「メインスイッチ OFF 方法」(P.10) を参照してください。

⚠ 警告	
⊘	クリーニング時はメンテナンズドアを開けないでください。 また、絶対に本製品の中に水分が入らないようにしてください。
	高圧洗浄は絶対にしないでください。感電や故障の原因になります。
!	充電コネクタ端子部に異物やほこりが付着した場合は、エアスプレーなどで除去してください。異物やほこりが付着したまま使用すると、感電・火災・故障の原因となります。

⚠ 注意	
⊘	本製品をクリーニングする際は、ワックスやカーシャンプーを使用しないでください。本製品を損傷するおそれがあります。
	たわしや研磨剤、アルコールやベンジンなどの可燃、不燃性溶剤などを使用しないでください。本製品を損傷するおそれがあります。
	積雪時は必ず除雪してください。
!	凍結している場合は、ぬるま湯 (40℃程度) で解凍してから使用してください。熱湯は使用しないでください。本製品を破損するおそれがあります。

■日常点検(毎回)

安全にご使用いただくため、日常点検を定期的に行うことが必要です。
下記の点検を実施してください。



ご注意

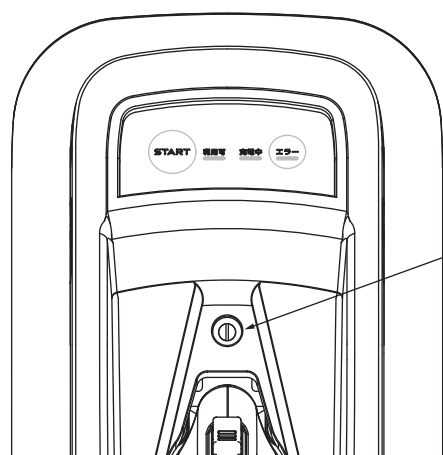
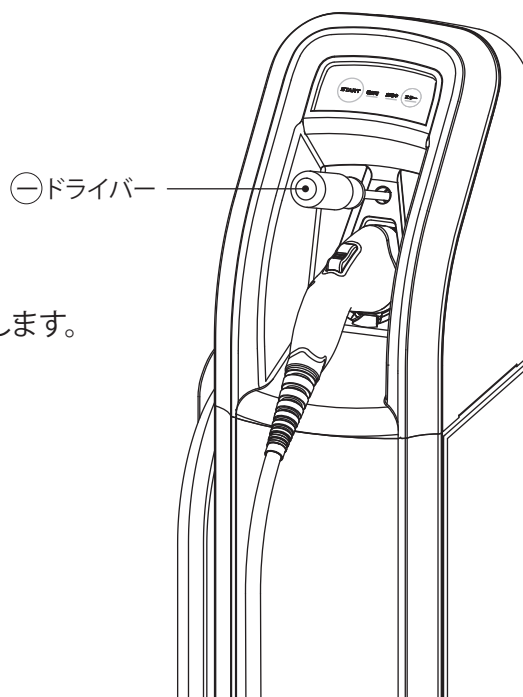
充電コネクタ、充電ケーブルは消耗品となり、不具合の場合は有償交換となります。

点検の結果、不具合をみつけたり、修理・交換が必要な場合は お問合わせ先 までご連絡ください。

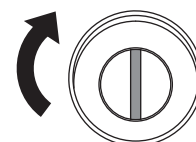
■コネクタロックの方法

コネクタ収納部のドライバー錠を利用すると、充電コネクタをロックすることができます。

ドライバー錠の施錠・解錠は、⊖ドライバーを使用します。

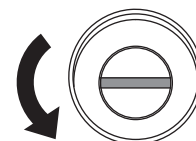


施錠



押しながら右へ回す

解錠



押しながら左へ回す

ご注意

- ・施錠した場合は、次回使用開始時に解錠してください。
- ・ドライバー錠は簡易的な施錠です。充電コネクタへのいたずらなどを完全に防止するものではありません。

■仕様

項 目		仕 様
入 力	電 圧	単相AC200V±10% (対地電圧100V)
	連続使用定格電流	16A
	周 波 数	50/60Hz
出 力	電 力	3.2kW
寸 法	高 さ	1120mm
	幅	230mm (ケーブルフック部含む)
	奥 行	252mm
	充電ケーブル長さ	約7m
製 品	質 量	約27kg
環 境	保 護 性 能	IP55 (コネクタ収納部は除く)
	設 置 環 境	屋内および屋外
	温 度	−25℃から+40℃ (氷結なきこと)

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

■お問い合わせ先

ご不明な点がございましたら、
株式会社豊田自動織機 EVC サポートセンター へお問い合わせください。

受付時間：平日(土日・祝日を除く) 9:00～17:00
T E L : 0 5 0 - 3 7 8 6 - 8 5 1 0

施工業者名			
TEL		施工年月日	年 月 日

仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
この説明書の内容は 2018 年 1 月現在のものです。

B200070935

株式会社 豊田自動織機

エレクトロニクス事業部 事業企画部営業室
愛知県大府市共和町茶屋 8 番地
<http://www.toyota-shokki.co.jp>

製造元：日東工業株式会社

愛知県長久手市蟹原2201番地
<http://www.nito.co.jp>